

週 報

1989年12月3日 降誕前第4主日
アドベント(待降節)に入る
巻 10 36号

1989年度教会主題

「神の言葉に従う」

聖句 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷、父の家を離れて、わたしが示す地に行きなさい。」……アブラムは主の言葉に従って旅立った。

創世記12章1節、4節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂の建築計画を完成する。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

一牧師室から一

教会では在籍している人を「教会員」、他教会員を「客員」、未受洗者を「求道者」と便宜上使い分けている。11月の4回の礼拝出席者を上記の分類で平均を調べてみた。教会員73.8%、客員6.8%、求道者19.4%であった。11月第一日曜日は永眠者記念礼拝日であったが、この日の求道者は22.8%であった。求道者が多いことは開かれた教会である証しと言える。教会は「絶えざる改革」をする群れであるが、それは求道者の存在に負うところが多い。求道者が2割もいることを率直に嬉しく思う。

しかし、最近教会員の礼拝出席率が非常に悪い。11月の平均礼拝出席者数は69.5名で今年度の最低である。その内、教会員は51.3名で、教会員総数105名からすると5割を割っている。私は聖書の言葉を正しく伝えることに努め、教勢には心を使わないようにしてきた。そして、病気や避けられない用事があることは当

然なので、律法主義的に礼拝出席を勧めたことはない。伝道所の開設当時は皆必死で礼拝を厳守してきたと聞いたが、その姿勢が崩れているのではないかと案ずる。クリスチャンは主の復活日を記念して、神を賛美する礼拝から週の歩みを始める。それが命の源であった。私たちにとって最も大切な方を拝するのだから、それなりの心と体の準備が必要であろう。生活を整えて礼拝に焦点を合わせる努力をしてほしいと願う。

プロテスタント教会は説教を聞きに行くという傾向が強い。確かに「神の言葉」の説教を中心している。しかし、礼拝は罪を懺悔し、キリストの赦しに与かり、神を賛美する信仰の全体が礼拝を成り立たせているのである。その礼拝を神が主導し、受け入れ、清めてくださる。イエス・キリストが忙しく立ち働くマルタに「あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。」と言われた言葉を考え直してほしい。